



うるわしの京都 あこがれの美

名品展 美術館 京都市

The Allure of Kyoto, the Longing for Beauty
— Masterpieces of the Kyoto Municipal Museum of Art —

2015年(平成27年)
10月31日(土)~12月23日(水・祝)

菊池契月《散策》昭和9年 絹本着色 第15回帝展

会期中、
本展チケットで
縮景園を散策
できます!

前売販売スタートしました!

会 期:平成27(2015)年
10月31日(土)~12月23日(水・祝)
会期中無休

開館時間:9:00~17:00
※金曜日は19:00まで ※入館は閉館30分前まで
※10月31日は10:00開場

料 金:一般 1100円 (900円)
高・大学生 700円 (500円)
小・中学生 400円 (200円)
※()内は前売・20名以上の団体料金



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



名勝「縮景園」とともに歩む アートの杜
広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

うるわしの京都
あこがれの美

【展覧会概要】

京都市美術館は、1928(昭和3)年に京都で挙行された天皇即位の大典を契機に、1933(昭和8)年に大礼記念京都美術館の名称で開設され、1952(昭和27)年に現在の名称となりました。同館は近現代美術の鑑賞と発表のための西日本最大の舞台のひとつとして、戦後日本文化の中で大きな役割を果たしてきました。同時に、明治以降の京都を中心とした多くの美術・工芸品を着実に収集し、今やそのコレクションは日本近代美術の流れを物語るものとなっています。

今回の展覧会では京都市美術館所蔵の日本画作品から精選した、上村松園《人生の花》、土田麦僊《平牀》、前田青邨《観画》、菊池契月《散策》など72点の名品を通して、明治・大正・昭和にいたる女性像のさまざまな表現と変遷を紹介します。

【京都市美術館について】 ※京都市美術館公式ホームページより掲載

平安の昔より、永きにわたり日本の文化・芸術の中心地であった京都は、明治以降においても、美術・工芸の中心地として、現代文化創造に重要な役割を果たしてきました。

この恵まれた芸術的伝統と活発な制作環境を背景に、京都市美術館は、昭和8年11月、東京都美術館に次ぐ日本で二番目の大規模公立美術館として設立されました。設立の機縁となったのは、昭和3年に京都で挙行された天皇即位の大典であり、その記念事業として、関西の財界はもとより多数の市民の協力を得て「大礼記念京都美術館」との名称で開設されました。以来、当時最大の美術展であった帝展をはじめとして、常設展や特別展、市展を開催し、戦時下の悪条件を克服して、京都美術界の発展に寄与してきました。

戦後は一時駐留軍に接收されましたが、昭和27年、接收解除を機に京都市美術館と改称し、美術館活動を全面的に再開しました。以来、戦前からの各種展覧会に加え、国際文化交流という時代の要請を受けて大規模な外国展覧会が頻りに開催されるようになり、近・現代美術の鑑賞と発表のための、西日本最大の舞台のひとつとして、戦後日本文化の中で大きな役割を果たしてきました。また、明治以降の京都を中心とした美術・工芸品を広く公開する常設展示施設が目指された設立趣旨のもと、開館以来の多くの寄贈や購入によって作品の収集も着実に進展し、昭和46年11月には念願の新収蔵庫が竣工して、作品収蔵機能の充実が図られ、さらに平成12年4月には、別館が開館して、展覧会開催の機能にもさらなる充実が図られました。今日も近・現代美術の収集と展覧、独自の調査研究、普及活動、作家活動の助成など、現代の美術・文化の振興に貢献しています。



【本展について(担当よりマスコミのみなさまへ)】

本展は、京都を中心とする画家による美人画の展覧会です。

どのように作品に向き合うかは自由なのですが、日本画の典雅な世界に遊ぶのもよし、和服や洋服、民族衣装まで華麗な衣装に見とれるのもよし...、鮮やかで美しい大画面を満喫していただけることでしょう。

そして、画家たちは造形的美人の表現だけに留まらず、それぞれの時代の現実世界を映す人の心を描き出そうとしているのです。

大画面の本格的な日本画を満喫できる展覧会です。是非、ご取材ください。

【展覧会の構成について】

1. 幕末京都の美人画

江戸末期の京都で活躍した三島上龍、吉原真龍、上島鳳山らによる、近代美人画が花開く前のプロローグ。

2. 美人画誕生！－上村松園と京都画壇

竹内栖鳳に師事し、格調高い女性の姿を描き、昭和23(1948)年女性として初めて文化勲章を受章した上村松園をはじめ、西山翠嶂、甲斐庄楠音、秋野不矩、堂本印象、土田麦僊など、画家たちがさまざまな視点から描いた作品をご覧ください。

3. 京の風俗

京都ならではの風俗を題材とした作品を取り上げます。林司馬、大日躬世子、宇田荻邨、丹羽阿樹子、案本一洋など京都の画家は身近なテーマとして舞妓や大原女、文学を選びました。

4. 時代を映した女性像のモダン

社会の近代化は女性たちの生き方に大きな影響を与えました。自身を見つめた自画像、戦争の時代を反映した画題、当時のお嬢さんたちのセーラー服姿や流行のファッション...、画家たちは自らが生きた時代の空気を女性像という姿を借りて描き出したのです。



上村松園《人生の花》
明治32(1899)年 絹本着色
2. 美人画誕生！
－上村松園と京都画壇に展示



大日躬世子《舞扇》
昭和41(1966)年 紙本着色
第9回新日展(特選)
3. 京の風俗に展示



菊池契月《散策》
昭和9(1934)年 第5回帝展
4. 時代を映した女性像のモダンに展示

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

【関連イベント】

記念講演会「美人画というジャンルの使命とは」

日時:10月31日(土)13:30~15:00

場所:地階講堂(定員200名)

講師:尾崎真人(京都市美術館学芸課長)

※聴講無料。事前申込は不要です。 ※受付は13:00から

ギャラリートーク

日時:11月6日、20日、12月4日、18日(金)11:00~

11月6日、12月11日(金)17:00~

場所:3階企画展示室

講師:本展担当学芸員

※入館券が必要です。申込不要。

ワークショップ「カード織りで紐作りを体験しよう！」(広島県立美術館友の会共催)

広島市立大学大学院生(染織造形)の指導のもと、色系を通したカードを回転させながら楽しい模様の紐やベルトを織ります。織りあがった作品とカードは持ち帰れます。

日時:11月7日(土)10:00~16:00頃(12:00~13:00昼休)

場所:3階ロビー

講師:久保田寛子、佐藤衣里、平濱あかり(広島市立大学芸術学部ティーチング・アシスタント)

対象:小学生程度~大人

定員:20名

参加費:500円

※要事前申込、先着順。(広島県立美術館までお電話にてお申し込みください。)

※当日、参加者はベルトと定規(15センチ程度)をお持ちください。

※昼食は各自(館内での飲食はご遠慮ください)。

ワークショップ「はんなり和色吹寄せ(わいろふきよせ)」

色サンプルを手し、展示作品の中に日本の伝統色を探します。絵の具を混色しながら、和色のひし型カードを作りましょう。最後に和色カードを並べて色の組み合わせや作れる模様を楽しみます。

日時:12月12日(土)13:30~15:30頃(12:00~13:00昼休)

場所:地階講堂

講師:松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)

対象:小学生以上

定員:20名

参加費:無料

※要事前申込、先着順。(広島県立美術館までお電話にてお申し込みください。)

※協力:泉美術館

ウェブライター大募集

日時:11月6日(金)17:00~18:30

受付場所:3階ロビー 実施場所:3階企画展示室

対象:インターネットを通じて本展PRにご協力いただける一般の方。

※実施当日に限って本展にご招待します。

press release

ロビーコンサート「たおやかな麗人“柳原白蓮”の短歌を歌う」

日時:10月31日(土)12:00～

出演者:二野宮賀子(ソプラノ)、福政歩(ピアノ)

会場:1階ロビー

※申込不要。鑑賞無料

アートと私の美味しい時間「ノヴェットロと京野菜で楽しむイタリアン」

日時:11月6日(金)17:00～20:45頃

会場:3階企画展示室&1階レストランZona ITALIA in Centro

※詳細は当館までお問い合わせください。

【縮景園連携企画】

本展会期中、本展チケットを当館1階ロビー縮景園連絡通路受付にてご提示ください。

紅葉の美しい縮景園を無料で散策(お楽しみ)いただけます。

【同時開催】(2階展示室)

9月20日～1月6日 美の競演—京都の美へのオマージュ

9月30日～1月6日 新しい仲間たちを紹介！—平成26年度に収集した作品を中心に

【開催概要】

展覧会名称:京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美

展覧会英語名: Masterpieces of the Kyoto Municipal Museum of Art
The Allure of Kyoto, the Longing for Beauty

料金:一般 1,100(900)円 高・大学生700(500)円 小・中学生400(200)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金

・学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所:

広島県立美術館、セブン・イレブン(セブンコード: <http://7ticket.jp>)、広島市・呉市内の主なプレイガイド・画廊・画材店、ゆめタウン、フジ、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)など

開催クレジット:

主催 広島県立美術館、イズミテクノ、中国新聞社

後援 中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー 76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7

協賛 広島県信用組合、乃村工藝社

特別協力 京都市美術館

問い合わせ先:

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail. ke.yamamoto@nomura-g.jp (山本宛)

担当 学芸課 福田浩子、事業推進課 山本恵子